



## ● 多様化する行政ニーズに対応 —— 石川県白山市

### 11年ぶりに CIR が着任

本市は、百名山の一つ、標高 2,702m の白山を有しており、この白山エリアを中心に人間と自然が共生する国際的なモデル地域として、「白山ユネスコエコパーク」に認定されています。また、市の全域が日本ジオパーク「白山手取川ジオパーク」に認定されていることから、ジオパーク活動が盛んであり、現在、その世界認定に向けての取り組みを強化しています。

一方、昨今の石川県を訪れる訪日外国人の増加に伴う観光情報の多言語化や、ここ数年急増している外国人住民に係る多文化共生への対応も待たなしという状況の中、2017年7月、11年ぶりに JET プログラムの CIR（国際交流員）として英国出身のダニエル・ヘリオット氏を任用することとなりました。

### 多文化共生とジオパーク国際活動

多文化共生に向けた取り組みにおいては、窓口で外国人住民に接することの多い本市職員向けに研修を行うほか、市民向けに啓発講座を開催しています。同講座は、日本人が外国人と接する時に、ついやってしまう行動や画一的な偏見等について、「日本人あるある」体験談を紹介するもので、市民の多文化共生講座の入門編として、市内の各種団体から依頼があり、大変好評を得ているところです。

一方、ジオパーク活動においては、その見どころを紹介する地元ケーブルテレビの番組に、1年間レギュラー出演を行いました。番組では、キャラクターと共にジオパーク内の名所を巡り、会話の中で母国イギリスの情報を交えるなど国際的視野を番組に取り入れてくれました。

また、本市開催の国際シンポジウムに出席する外国人スピーカーや海外から来市する研究者との橋渡し役も担っており、ユネスコ世界ジオパーク認定を目指している本市にとって、もはや CIR は不可欠な存在となっています。

これからも、多くの市民との交流を通して、CIR の存在意義を発揮するとともに、多様化する行政ニーズのさまざまな場面で能力を存分に発揮してくれることを期待しています。



多文化共生講座で講師を務める CIR のダニエル



白山手取川ジオパークで専門員の説明を通訳



仕事で白山登山を行うダニエル